

令和8年度

国営総合農地防災事業全体実施設計

吉田川流域地区中下機械排水路実施設計業務

現 場 説 明 書

東北農政局北上土地改良調査管理事務所

1. 一般事項

(1) 契約の保証について

契約の保証については、別紙1のとおりである。

(2) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- ① 部局長が発注する建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務（以下「発注工事等」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行うこと。
- ② ①により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- ③ 発注工事等において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(3) 被災者の就労機会の確保について

受注者は、外業等の業務に当たって、地震等被災地域における被災者（農林漁家を含む）の就労希望者を優先的に雇用するよう努めるものとする。

なお、被災者等の雇用においては、賃金等の支払いが適正かつ遅滞なく行われるよう配慮すること。

2. 作業歩掛について

- ① 「農林水産省土地改良工事積算基準（調査・測量・設計）」（以下「積算基準」という。）に定められた作業歩掛で考えている。
- ② 本業務における作業条件等については、別紙2のとおりとしている。

3. 歩掛・単価の適用期について

積算に使用する歩掛及び単価については、以下のホームページで公表されている入札書受付開始時点の最新版を適用する。

- ① 歩掛及び技術者基準日額 農林水産省ホームページ
ホーム > 農村振興 > 土地改良工事積算基準等の改正について
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/h200331/index.html>
- ② 資材価格 東北農政局ホームページ
ホーム > 入札情報・お問合せ > 発注・入札情報、その他公表事項
<https://www.maff.go.jp/tohoku/sinsei/nyusatu/nyusatu.html>

4. 打合せについて

- ① 打合せ場所は、北上土地改良調査管理事務所宮城支所（宮城県大崎市）で行うこととしている。
- ② 打合せに係る配置人員は下表のとおりとし、打合せの作業日数は0.5日/回を見込んでいる。なお、往復移動に係る基準日額は見込んでいない。

職 種 打合せ	主任技師 (人/回)	技師A (人/回)	技師B (人/回)
初 回	1.0	1.0	
第 2 回		1.0	1.0
第 3 回		1.0	1.0

職 種 打合せ	主任技師 (人/回)	技師A (人/回)	技師B (人/回)
第 4 回		1.0	1.0
最 終 回	1.0	1.0	

- ③ 特別仕様書第3章第3-3条(2)に示す合同現地調査時の管理技術者及び担当技術者の費用として主任技師0.5人、技師A0.5人を別途見込んでいる。
- ④ 特別仕様書第3章第3-3条(3)に示す最終打合せ時の照査報告書の報告にかかる照査技術者の費用として主任技師0.5人を別途見込んでいる。

5. 旅費交通費について

- ① 積算上の基地は、仙台市としている。
- ② 現地調査はライトバンを利用し、日帰りにより行うことで見込んでいる。
- ③ 打合せはライトバンを利用し、日帰りにより行うことで見込んでいる。
- なお、仙台宮城 IC～古川 IC 間の高速道路料金 2,400 円（往復、税抜き）を計上している。

6. 仕様書補足事項

特別仕様書第5-1条に示す不開示情報の黒塗り等の措置に係る費用として、設計業務技術員0.5人及び電子媒体（CD-R等）1枚の費用を直接経費に計上している。

作業に当たっては、監督職員との打ち合わせに基づき、本業務の成果物データ（PDF形式）を元に、PDFファイルの編集機能を用いて、黒塗り等の措置を行うものとする。

なお、不開示情報とは、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報とする。

7. 積算書工種区分

積算書工種区分は「実施設計」とする。

1. 契約の保証について

(1) 落札者は、業務請負契約書案の提出とともに、以下アからオのいずれかの書類を提出しなければならない。ただし、以下アからオのいずれかの書類に代えて、業務完了保証人を付することができる。

ア 契約保証金に係る保管金領収証書及び保管金提出書

(ア) 保管金領収証書は、「日本銀行盛岡代理店（岩手銀行本店内）」に契約保証金の金額に相当する金額の金銭を払い込んで、交付を受けること。

(イ) 保管金領収証書の宛名の欄には、「東北農政局北上土地改良調査管理事務所 歳入歳出外現金出納官吏 庶務課長 鈴木智宏」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。

(エ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたときは、契約保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(オ) 受注者は、業務完了後、請負代金額の支払請求書の提出とともに保管金の払渡を求めるとの旨の保管金払渡請求書を提出すること。

イ 契約保証金に代わる担保としての有価証券（利付国債に限る。）に係る政府保管有価証券払込済通知書及び政府保管有価証券提出書。

(ア) 政府保管有価証券払込済通知書は、「日本銀行仙台支店」に契約保証金の金額に相当する金額の利付国債を払い込んで、交付を受けること。

(イ) 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、「政府保管有価証券取扱主任官東北農政局総務部会計課課長補佐（主計）佐藤淳一」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。

(エ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保管有価証券は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(オ) 受注者は、業務完了後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払込済請求書を提出すること。

ウ 債務不履行時による損害金の支払いを保証する銀行等の保証に係る保証書

(ア) 契約保証金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和 29 年法律第 195 号）に規定する金融機関である銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、商工組合中央金庫、信用協同組合、農業協同組合、水産業協同組合若しくはその他の貯金の受入れを行う組合（以下「銀行等」という。）又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和 27 年法律第 184 号）第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社（以下「金融機関等」と総称する。）とする。

(イ) 保証書の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 菊池英博」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 保証債務の内容は業務請負契約書に基づく債務の不履行による損害金の支払いであること。

(エ) 保証書上の保証に係る業務の業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。

(オ) 保証金額は、契約保証金の金額以上であること。

(カ) 保証期間は、履行期間を含むものとする。

- (キ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合又は履行期間を変更する場合等の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ク) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、銀行等から支払われた保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- (ケ) 受注者は、業務完了後、契約担当官等から保証書（変更契約書がある場合は、変更契約書を含む。）の返還を受け、銀行等に返還するものとする。

エ 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証に係る証券

- (ア) 公共工事履行保証証券とは、保険会社が保証金額を限度として債務の履行を保証する保証である。
- (イ) 公共工事履行保証証券の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 菊池英博」と記載するように申し込むこと。
- (ロ) 証券上の主契約の内容としての業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。
- (ハ) 保証金額は、請負代金額の 10 分の 1 の金額以上とする。
- (ニ) 保証期間は、履行期間を含むものとする。
- (ホ) 請負代金額を変更する場合又は履行期間を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ヘ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保険会社から支払われた保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

オ 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約に係る証券

- (ア) 履行保証保険とは、保険会社が債務不履行時に、保険金を支払うことを約する保険である。
- (イ) 履行保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。
- (ロ) 保険証券の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 菊池英博」と記載するように申し込むこと。
- (ハ) 証券上の主契約の内容としての業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。
- (ニ) 保険金額は、請負代金額の 10 分の 1 の金額以上とする。
- (ホ) 保険期間は、履行期間を含むものとする。
- (ヘ) 請負代金額を変更する取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ヘ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保険会社から支払われた保険金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保険金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(2) (1) の規定にかかわらず、次に該当する場合は、契約の保証を付さなくてよいものとする。

ア 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 100 条の 2 第 1 項第 1 号の規定により業務請負契約書の作成を省略することができる業務請負契約である場合。

(3) その他

保険証券等の電磁的方法による提出

保証証券等（契約の保証に係る保証書若しくは証券又は前払金保証に係る保証証券をいう。以下同じ。）の提出又は寄託に代えて電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法をいう。）であって、金融機関等が定め、契約担当官等の認める措置（以下「電磁的方法による提出」という。）を行う場合は、受注者は、保

証書等の提出又は寄託に代えて、電子証書等閲覧サービス（電子証書等を電気通信回線を通じて発注者等の閲覧に供するために、電子計算機を用いた情報処理により構築されたサービスであって、保険会社又は保証事業会社が指定するものをいう。）上にアップロードされた電子証書等を閲覧するために用いる契約情報（電子証書等の保険契約番号又は保証契約番号をいう。）及び認証情報（電子証書等の保険契約番号又は保証契約番号に関連付けられたパスワードをいう。）を契約担当官等に提供し、契約担当官等が、当該契約情報及び認証情報を用いて当該電子証書等を閲覧することをもって代えることができる。保証契約番号及び認証情報は、可能な限り電子契約システムを介して提供すること。

1. 中下機械排水路実施設計

(1) 中下機械排水路

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 現地調査	【設計条件】 難易度補正 I、設計対象延長1,176m、 複合設計補正する、流量:Q<10.0m ³ /s	1式	標準歩掛
2. 資料の検討	〃	〃	〃
3. 設計計画	〃	〃	〃
4. 水理検討	〃	〃	〃
5. 構造計算	〃	〃	〃
6. 構造図作成	〃	〃	〃
7. 附帯構造物	〃	〃	〃
8. 平面縦断図作成	〃	〃	〃
9. 土工図作成	〃	〃	〃
10. 数量計算	〃	〃	〃
11. 施工計画	〃	〃	〃
12. 特別仕様書作成	〃	〃	〃
13. 概算工事費積算	〃	〃	〃
14. 総合検討	〃	〃	〃
15. 照査	〃	〃	〃
16. 点検取りまとめ	〃	〃	〃

(2) 野蒜第2・3揚水機分水工

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 現地調査	【設計条件】 対象箇所数:1箇所、既製品使用しない、対象流量: Q<0.8m ³ /s、水路本体設計あり	1式	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
2. 資料の検討	〃	〃	〃
3. 設計計画	〃	〃	標準歩掛
4. 水理構造計算	〃	〃	〃
5. 構造図作成	〃	〃	〃
6. 数量計算	〃	〃	〃
7. 概算工事費積算	〃	〃	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
8. 総合検討	〃	〃	〃
9. 点検取りまとめ	〃	〃	〃

(3) 水路横断構造物

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 現地調査	【設計条件】 箇所数：8箇所、口径区分： $\phi \leq 600\text{mm}$ 、 水路本体設計あり	1式	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
2. 資料の検討	〃	〃	〃
3. 設計計画	〃	〃	標準歩掛
4. 水理構造計算	〃	〃	〃
5. 構造図作成	〃	〃	〃
6. 数量計算	〃	〃	〃
7. 概算工事費積算	〃	〃	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
8. 総合検討	〃	〃	〃
9. 点検取りまとめ	〃	〃	〃

2. 大塚川排水路接続水路実施設計

(1) 大塚川排水路接続水路

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 現地調査	【設計条件】 難易度補正 I、設計対象延長230m、 複合設計補正する、流量： $Q < 10.0\text{m}^3/\text{s}$	1式	標準歩掛
2. 資料の検討	〃	〃	〃
3. 設計計画	〃	〃	〃
4. 水理検討	〃	〃	〃
5. 構造計算	〃	〃	〃
6. 構造図作成	〃	〃	〃
7. 附帯構造物	〃	〃	〃
8. 平面縦断図作成	〃	〃	〃
9. 土工図作成	〃	〃	〃
10. 数量計算	〃	〃	〃
11. 施工計画	〃	〃	〃
12. 特別仕様書作成	〃	〃	〃
13. 概算工事費積算	〃	〃	〃
14. 総合検討	〃	〃	〃
15. 点検取りまとめ	〃	〃	〃

(2) 大塚川排水路分水工

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 現地調査	【設計条件】 対象箇所数:1箇所、既製品使用しない、対象流量:Q ≧0.8m ³ /s、水路本体設計あり	1式	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
2. 資料の検討	〃	〃	〃
3. 設計計画	〃	〃	標準歩掛
4. 水理構造計算	〃	〃	〃
5. 構造図作成	〃	〃	〃
6. 数量計算	〃	〃	〃
7. 概算工事費積算	〃	〃	水路本体と併せて設計するため、歩掛計上なし
8. 総合検討	〃	〃	〃
9. 点検取りまとめ	〃	〃	〃

3. 打合せ他

作業項目	作業条件等	数量	備考
1. 打合せ	打合せ日数0.5日	5回	標準歩掛
2. 打合せ旅費交通費	積算基地:仙台市、ライトバン移動、日帰り、高速道路利用(仙台宮城IC~古川IC)	5回	〃
3. 合同現地調査旅費交通費	積算基地:仙台市、ライトバン移動、日帰り	1回	〃
4. 現地調査旅費交通費	積算基地:仙台市、ライトバン移動、日帰り	2日	〃
5. 業務報告書作成		1式	〃

※1)本作業条件等は入札参加者の見積の参考資料とするものであり、業務請負契約上、発注者、受注者の双方を拘束するものでない。